

■意見の反映区分及び反映内容  
 【反映区分】 【反映内容】  
 ① …… 計画に反映するもの  
 ② …… 計画事業の実施に当たって参考にするもの  
 ③ …… 補足説明等を行うもの(計画への感想等含む)

NO	寄せられた意見・感想	反映区分	ご意見への対応	計画対応ページ
1	・地域の公共交通と、観光交通の需要を明確に示してほしい。	①	ご指摘を踏まえ、「§ 2-5-3地震前後の各公共交通の利用状況」として、各公共交通の1日あたり利用者数や1便あたり利用者数を計画に追加しました。	p34-35
2	・防災拠点の役割について、熊本地震当時、各駅がどのように使われていたかを示して欲しい。	①	ご指摘を踏まえ、「§ 3 熊本地震による南阿蘇鉄道に関する変化・影響」において、各駅の概要(主な催し物など)や駅舎関係者ヒアリングで把握した主要駅の熊本地震時の利用状況などを整理し、計画に追加しました。	p42-43
3	・P4上段右の①公共交通空白地の総人口割合は、分子と分母の値がどのようなものか分からないため、数字の意味がわからない。公共交通空白地の基準などを示すべきではないか。	①	ご指摘を踏まえ、評価指標の定義づけと目標値の考え方を整理し、計画に追加しました。	p94
4	6章の評価目標の値の設定根拠はどこから来ているのかの説明が欲しい。	①	ご指摘を踏まえ、評価指標の定義づけと目標値の考え方を整理し、計画に追加しました。	p94
5	目標の中で営業収入、輸送人員が現行の10倍であり過大な印象です。	①	熊本地震後の数値と比較すると10倍の目標値ですが、計画書93ページのとおり、熊本地震前の状況を踏まえて決して過大ではないと考えております。ご指摘を踏まえ、評価指標の定義づけと目標値の考え方を整理し、計画に追加しました。	p93、94
6	どの地域にどの程度の水準で、どのような種類の公共交通サービスを提供しようとしているのがイメージできない。	①	「§ 6-2計画の目標」にて、当該地域の公共交通について1便あたり2人以上、つまり乗合利用を促進する目標を設定しており、この目標を達成するための運行サービスを検討・検証していきます。なお、第1期(H30-34:暫定復旧時)に目指す公共交通網のイメージ図を作成し、計画に追加しました。	p93、100
7	2章~4章(現状分析)は大半が「外からの観光需要を目的とした南阿蘇鉄道の全線復旧とその運営改善」となっており、地域公共交通網形成の「網」の視点、地元による活性化・再生の意図が弱い。	①	ご指摘を踏まえ、第1期(H30-34:暫定復旧時)に目指す公共交通網のイメージ図を作成し、計画に追加しました。また、「§ 6-5 目標達成に向けたマネジメント」において、ワーキング体制の構築について計画に追加しました。	p100
8	関係主体である行政・事業者・地域住民が活性化・再生にどのように関わっていくかも不明である。	①	ご指摘を踏まえ、「§ 6-5 目標達成に向けたマネジメント」において、ワーキング体制の構築について計画に追加しました。	p111
9	課題1~8に対して、基本方針が1~6と示されていて、課題解決の過程がみえて、分かりやすいと思いました。しかし、これらの関係について、優先順位が分かりにくく、どのような体制で、誰が主体的に関わるのか、が不明瞭であると思います。熊本県、南阿蘇村、高森町、南阿蘇鉄道、駅の管理者、沿線住民、観光客、熊本県民、全国の南阿蘇鉄道のファン、それぞれに活動を担うことは可能だと思います。協議会の運営をオープンにして、積極的に市民の自立的な沿線復旧、復興に資する活動を支援していく必要性を感じます。メディアとも協力して、地元の課題解決を外部の支援者とともに実施していく、緩やかな繋がりが重要となると考えます。	①	ご指摘を踏まえ、「§ 6-5 目標達成に向けたマネジメント」において、ワーキング体制の構築について計画に追加しました。	p111
10	・基本方針6について、連携できる仕組み・機運の重要性。 ・各協議会の構成や位置づけをわかりやすくしてほしい。その上で各活動団体や支援者との情報共有ができることより良くなると思う。	①	ご指摘を踏まえ、「§ 6-5 目標達成に向けたマネジメント」において、ワーキング体制の構築について計画に追加しました。	p111
11	・1985年4月に南鉄の存続開始となったそうですが、先人たちの計画希望は現在(震災前)と重ねて何なんですか？良い悪いは別として検証しておくことが必要と考えます。	②	ご指摘の意見等については、「§ 6-4-1 南阿蘇鉄道の全線復旧と持続可能な運営の確立」等において、当該事業の検討にあたって参考にごさせていただきます。	p97-98
12	南鉄利用促進に高齢者割引等の導入を願いたい。	②	ご指摘の意見等については、「§ 6-4-1 南阿蘇鉄道の全線復旧と持続可能な運営の確立」等において、当該事業の検討にあたって参考にごさせていただきます。	p97-98
13	南阿蘇鉄道が全線復旧解決に向け働いていることは本当の喜ばしいことと思います。南阿蘇鉄道の創造的復興には、南阿蘇鉄道は住民の公共交通としての機能充実のほかに、まずもってトロッコ列車を中心とする南阿蘇鉄道は、南阿蘇地域の観光の中核施設である前提に位置づけし、ここを出発点に今後の南阿蘇鉄道が果たす役割を考へていくことが重要であると考えます。この復興計画を機に本施設が南郷地域の中核観光施設としてスタートすることが南阿蘇地域発展に欠かすことのできない観光の柱と考える。不可能と思われた全線復旧を今後永久施設として残していく為にも、また南阿蘇地域の観光を運営していく観点からも、本地域から全国に、世界に発信できる最重要な観光中核施設の一つとして創造的な具体的な復興計画を推進していくべきであると考え。例えば、南阿蘇鉄道のトロッコ列車が阿蘇カルデラの中に住む人々の住宅地帯、田園地帯を東西に走り、また、世界の阿蘇五岳、南外輪山、原生林を背景に走る光景など、これはどこにもない光景でありこのイメージの情報を発信し続けていくことが南阿蘇地域の観光ファンの開拓にもつながり南阿蘇鉄道を不動のものにしていくものだと考えます。全国から一度は来てみたい、トロッコ列車で豊かな大自然の南阿蘇を満喫したいと思われる魅力ある情報発信を継続していくべきである。村づくりを進めながら、多くの南阿蘇鉄道ファンを得ることが、この南阿蘇鉄道を永久に残していく第一の方策と考える。南阿蘇に「トロッコ列車あり」を定着させていくことがまず取り組む課題と考える。	②	ご指摘の意見等については、「§ 6-4-1 南阿蘇鉄道の全線復旧と持続可能な運営の確立」等において、当該事業の検討にあたって参考にごさせていただきます。	p97-98
14	1)企業の研修に利用してもらう 南阿蘇鉄道に乗ってもらい観光と地震からの復興も説明し、その後、復興遺産の東海大あたりを防災教育でまわり、南阿蘇村や高森町に宿泊してもらうボランティアや企業で復興支援等で来られた方は、復興のことがどうすすんでいるかを見るためにリピーターになられることが多い。	②	ご指摘の意見等については、「§ 6-4-1 南阿蘇鉄道の全線復旧と持続可能な運営の確立」等において、当該事業の検討にあたって参考にごさせていただきます。	p97-98
15	・段階的な部分運行再開の計画をできるだけ早くに公開してほしい。(不明確な部分が多いと機運があがらない)	②	ご指摘の意見等については、「§ 6-4-2 鉄道・道路の段階的な復旧に対応したきめ細かな公共交通網の構築」等において、当該事業の検討にあたって参考にごさせていただきます。	p99-100
16	トンネルの安全性が100%保証されるまでは、立野駅への他の方法でのアクセスも考慮に入れてほしいと思います。(例えば長陽駅からは長陽大橋を使った立野駅へのアクセス等)	②	ご指摘の意見等については、「§ 6-4-2 鉄道・道路の段階的な復旧に対応したきめ細かな公共交通網の構築」等において、当該事業の検討にあたって参考にごさせていただきます。	p99-100
17	4、(2)計画期間の第1期は復旧期で進捗度が大事、更に細かく点検する。	②	ご指摘の意見等については、「§ 6-4-2 鉄道・道路の段階的な復旧に対応したきめ細かな公共交通網の構築」等において、当該事業の検討にあたって参考にごさせていただきます。	p99-100

NO	寄せられた意見・感想	反映区分	ご意見への対応	計画対応ページ
18	・南阿蘇鉄道に肥後大津まで引き入れて乗換えを楽にして下さる事にまず感謝したい。 ・マイカを持たない1人暮らしの者としての意見です、南阿蘇鉄道が使えないのが熊本市内まで帰りの足(交通の手段)のことを考え、出掛けることが少なくなった。快速を3本出していただくととても嬉しいですよ(南阿蘇が復旧したら)	②	ご指摘の意見等については、「§ 6-4-3 将来の地域住民ニーズに対応した持続可能な公共交通網の構築」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	p101-102
19	地域住民の多くの方がすでに提案されておられることと思いますがあえて申し上げます。南阿蘇地区と公共交通機関である南阿蘇鉄道の復興と活性化・持続的発展には以下のことが必要と考えます。 西側は南鉄を大津駅へ乗入れる。 その場合でも高森駅から大津駅までの所要時間を50分程度にする。(現状、車の場合40分程度で行けるのこれに対抗するため)そのため現状の駅数を見直すか快速を運行する。	②	ご指摘の意見等については、「§ 6-4-3 将来の地域住民ニーズに対応した持続可能な公共交通網の構築」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	p101-102
20	新年早々の熊日のトップ記事に 一気に明るい気分になりました。更に関係者の方々が町民には見えない？ところで努力していることが分かりました。大津までの乗り入れ！ 実現すれば起死回生のホームランだと思います。昨年のアンケートにも応募しましたが… 何にも伝わっていないのか？との思いが稀有であったと安心しました。昨年のアンケートと重複すると思いますがもう一度記させていただきます。 鉄道と周遊バス(町民の足にもなる)と見どころ食べ処割引の共通券を発行する程度でも乗り降り自由(2500/3000円)立野に車を置いて鉄道で高森町その後中の周遊バスで一日高森町を散策できる。現状では到着してから足の力が全くなりません。高森町の見どころ町内の食べ処の案内を作成して乗り降り自由のバスを一時間おきに回遊、町民もバスの便が便利になり利用が増えると思います。(町民は代金別途)バスに乗って温泉行って帰りにビール。風趣際に行って飲んで帰る等々、今のままの時刻表なら利用は減少の一途だと思います。見どころの場所も食べ処の店も各店が切迫感を感じて夏を上げる(町が主導権を持って、観光客を落胆させない責任があります)で毎日では回り切れないうらいの魅力をリピーターを喚出して評判を口コミで発信したくなる観光客を作る。見どころ(温泉)や食べ処の割引券をセットにする。すべての希望店を第三者機関で審査して各折店のみ周遊バスに載せる。反発も起きるでしょうが開通までの数年有ることがチャンスです。折角の見どころが全く活かされていないと思います。食べ処は個人の意見ですが、来客人をご馳走する店が無いのが現状です。おしゃれな店客が来たくなるような店… 鉄道を利用しない人へは高森駅前からの周遊バスも発行する(1200/2000円)先日のテレビで鳥根県江津市の若者が増える(永住者)を見ましたか？ 勝手な意見かも知れませんがなんだか進まない現状にイライラしています。こんな自分でも町の為に役立つことがあるなら協力しますが…	②	ご指摘の意見等については、「§ 6-4-3 将来の地域住民ニーズに対応した持続可能な公共交通網の構築」、「§ 6-4-5 観光振興と一体となった公共交通網の構築」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	p101-102、104-105
21	・熊本市内一高森間の移動できる公共交通の手段、便数の増加	②	ご指摘の意見等については、「§ 6-4-3 将来の地域住民ニーズに対応した持続可能な公共交通網の構築」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	p101-102
22	主な駅にタクシー会社(村営でも、個人でも)を置き、最寄の駅から誰でも行ける見晴らしの寄り場所に会館もできる大きな図書館、色々なお店、又は食事、お茶などをしに行けるよう、片道100円位にして、車に乗れないお年寄りの方でもどこにでも行けるようにする。帰りの店から近くの駅にタクシーで戻り大津でも市内でも鉄道で帰れるようにする。車だけでなく電車でも熊本から南阿蘇、高森をまるごと遊べるように。	②	ご指摘の意見等については、「§ 6-4-3 将来の地域住民ニーズに対応した持続可能な公共交通網の構築」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	p101-102
23	・大津への乗り入れが可能となった場合、沿線で事業されている(生計を立ててる)方々住民の要望は細かく取り上げて弱者となられないよう配慮願います。	②	ご指摘の意見等については、「§ 6-4-3 将来の地域住民ニーズに対応した持続可能な公共交通網の構築」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	p101-102
24	【人口減・高齢化に伴う交通手段】 「村人見守り総運転手」を登録して対応する。どこか過疎地のことでテレビ放映されていました。(三重県熊野市五郷町)	②	ご指摘の意見等については、「§ 6-4-3 将来の地域住民ニーズに対応した持続可能な公共交通網の構築」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	p101-102
25	【住民の利便性と経済性、観光客が楽しめる街造りを考えてほしい】 住民を主体に考えた交通網を構築する。次に観光客を考慮した交通網を構築する。南阿蘇鉄道の復旧は莫大な復旧費用がかかる。又、住民の利便性を考慮して運用頻度を多くすると費用がかさみ採算が取れないと考える。南阿蘇鉄道は主に観光列車として活用し、駅舎やその周辺の街並みや店舗を観光客が散策して楽しめる場所に作り替える。	②	ご指摘の意見等については、「§ 6-4-3 将来の地域住民ニーズに対応した持続可能な公共交通網の構築」、「§ 6-4-5 観光振興と一体となった公共交通網の構築」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	p101-102、104-105
26	又、阿蘇地域(南阿蘇)に適用する地域通貨を作り、住民の車でタクシーの機能を代替出来るようにする。(規制の変更が必要?)	②	ご指摘の意見等については、「§ 6-4-3 将来の地域住民ニーズに対応した持続可能な公共交通網の構築」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	p101-102
27	○バス路線の全面的な見直しで住民のニーズ、新たな観光名所発掘に。○通学割引額を増やす。(子育て支援の意味からも助成出来る様に)○テスト期間を設け、あえて運行を増やし、駅から目的地までもバス、タクシーを利用出来るようにする。(採算を考えずに運行を増やし、成功した町がありました。)	②	ご指摘の意見等については、「§ 6-4-3 将来の地域住民ニーズに対応した持続可能な公共交通網の構築」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	p101-102
28	○通勤・通学用の朝晩走らせる。(列車・バス)…1日、3ヶ月、6ヶ月 中間フリーバス券 回数券券券	②	ご指摘の意見等については、「§ 6-4-3 将来の地域住民ニーズに対応した持続可能な公共交通網の構築」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	p101-102
29	○70才以上の免許返納者→3割引きの鉄道・バス乗車可能とする。	②	ご指摘の意見等については、「§ 6-4-3 将来の地域住民ニーズに対応した持続可能な公共交通網の構築」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	p101-102
30	○75才以上の方→3~4割引きの乗車券発行 →証明書発行ただし村が会社に補填を考える。	②	ご指摘の意見等については、「§ 6-4-3 将来の地域住民ニーズに対応した持続可能な公共交通網の構築」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	p101-102
31	以上、概略のみ提案いたします。 鉄路がなくなって困るのは 通学 通勤 買い物など沿線住民の足です。この対策としては 利用人数は過去把握されていると思うので その人数に応じた 小型バス や 7~8人乗りの車を走らせるとよい。そうすれば 鉄路から離れた国道や県道も経由でき 効率と共に便利さの増す。従来の鉄道は本数も少なく 不便だった また満車になるのはトロッコのみ、それなら 観光客は 新規の馬車と 巡回バスを活用していただくことができる。地元既存業者(タクシー)の使い方を考慮するののも一つの考え方です。	②	ご指摘の意見等については、「§ 6-4-3 将来の地域住民ニーズに対応した持続可能な公共交通網の構築」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	p101-102
32	3. まちづくりを実現するために解決が必要な公共交通の問題・課題 課題1. 南阿蘇鉄道は駅を増やして(1kmごとに)募集店舗ができるように駅の敷地を広くする。 課題2. 地域住民にはみんなでがんばろうと言いつける。 課題3. 100円バスなどで最低限カバーすること。 課題4. 意見なし 課題5. 利用者が少ないのは、便数と賃金が高いため載らないのであり、例えば朝6時~10時は30分ごと、夕4時~8時まで30分ごと、5時~22時は1時間ごととして住民は75歳以上は無料とし、全線250円とする。 課題6. JRを退職された方を募集 課題7. 高森駅、立野駅にバス、タクシーを配置する。 課題8. パンフレットを活用する。	②	ご指摘の意見等については、「§ 6-4-3 将来の地域住民ニーズに対応した持続可能な公共交通網の構築」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	p101-102
33	(南阿蘇鉄道沿線地域の問題改善策)南阿蘇鉄道の活性化及び立野駅(高森駅周辺の活性化策が必要と考えます) ○鉄道運行形態の見直し改善について イ・平日は通勤、通学の公共交通手段としての運行(時間・ルート)・時間…例 朝、高森発6時、7時(2両編成、折り返し運転、途中立野駅で交差)・ルート…高森駅~大津駅(大津駅まで延長することにより、通勤、通学者の公共交通手段としての利便性の向上、安定が図られ、ひいては定住、移住者の増加も期待できる。) 又、日中の公共交通手段として、大津町方面での病院、会合、ショッピング等日常生活の利便性も向上する。(朝、夕以外の日中の運行時間は運行実績により調整し、採算面を考慮する。) ロ・土、日、祝祭日及び学校の春、夏、冬休み期間は・特別列車(トロッコ、イベント列車)の運行・季節感、地域特色あるイベント・ルート…高森駅~立野駅	②	ご指摘の意見等については、「§ 6-4-3 将来の地域住民ニーズに対応した持続可能な公共交通網の構築」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	p101-102

NO	寄せられた意見・感想	反映区分	ご意見への対応	計画対応ページ
34	3)南阿蘇村の中心に位置する道の駅あそ望の郷きぎのとつながる交通があるとい(中松駅からあそ望の郷までの乗り合いタクシー等)	②	ご指摘の意見等については、「§6-4-3 将来の地域住民ニーズに対応した持続可能な公共交通網の構築」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	p101-102
35	・南阿蘇鉄道沿線地域のまちづくりの方向性 現在の南阿蘇鉄道は駅舎を利用したカフェ等の取り組みがあるが、非常にユニークな取り組みだと思われる。このような駅が常駐する駅と駅前を中心に周辺に点在するジオパークのジオサイトなどの見どころをつなぐ仕組みがあると人が訪れ地域が活性化するのはないかと考える。 レトロな駅舎、車内から眺める田園風景は重要な資源であり、農業等の日常に取り組むことが南阿蘇鉄道の価値を高め、まちづくりにつながると考える。	②	ご指摘の意見等については、「§6-4-4 定住・観光・防災等、まちづくりに必要な鉄道駅の拠点的役割の強化」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	p103
36	また乗合タクシーも「駅から」や「駅まで」と駅の待合室を利用するように住民が意識できれば、鉄道や駅の利用が広がると思います。そのために1駅1主役の個性をもっと前面に出して、観光案内情報発信係レンタサイクル場を整備することを提案します。町村の東西を横断する南鉄を、観光の情報発信駅として復興中心に捉えていただく考えは前に進むと思います。	②	ご指摘の意見等については、「§6-4-4 定住・観光・防災等、まちづくりに必要な鉄道駅の拠点的役割の強化」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	p103
37	1. 南郷地区としてメインの駅舎とサブの駅舎の特色を出す。	②	ご指摘の意見等については、「§6-4-4 定住・観光・防災等、まちづくりに必要な鉄道駅の拠点的役割の強化」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	p103
38	○開放とした空施設の利用(駅周辺の地域グルメ店など) ○アウトホームな雰囲気の基本として、仲間や地域社会ともより支え、支えられる取組み。 ○将来を担う子育ての成長を見守り互いに助け合う、絵画館など。一時しのぎではなく変わり映えに気を配りながら、自由に遊べる豊かな精神を築くアドバイス。心構えを養う。(育児を支えあう、語り合う自由な場、支援と交流)	②	ご指摘の意見等については、「§6-4-4 定住・観光・防災等、まちづくりに必要な鉄道駅の拠点的役割の強化」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	p103
39	(5)上下分離方式で駅舎は自治体を持つなら特色を出してほしい。高森駅はターミナル駅。長隣駅は南阿蘇駅にして駅内に食糧スーパーを併設し、地産地消にする。立野駅はサービシアリアの駅と防災の駅にする。	②	ご指摘の意見等については、「§6-4-4 定住・観光・防災等、まちづくりに必要な鉄道駅の拠点的役割の強化」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	p103
40	計画案(概要版)に対する意見 1. 沿線地域公共交通網形成計画 全線復旧工事の時に、1駅名の増設(役場の近くに南阿蘇駅を創る)○たとえば阿蘇下田駅周辺の全面改修工事(駅の改築とターミナルを駅の南側に大型のバスタクシーなどが駐車できるための)をして南阿蘇駅と役場を2〜3分で繋ぐまた、ターミナルの道路(8m)は南へ伸びはし線道路に繋ぐ。	②	ご指摘の意見等については、「§6-4-4 定住・観光・防災等、まちづくりに必要な鉄道駅の拠点的役割の強化」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	p103
41	④立野は世界の阿蘇の入口になります。自動車・自転車のレンタル店出したらどうでしょうか。	②	ご指摘の意見等については、「§6-4-4 定住・観光・防災等、まちづくりに必要な鉄道駅の拠点的役割の強化」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	p103
42	現在の南阿蘇鉄道と県道28号に沿う様に走らせ南阿蘇役場、高森町役場に近い駅にはATMや郵便局を設置。又、簡単な事務手続(住民票や印鑑証明取得等)ができる様に。又、それぞれの駅には中が見えるコインロッカーのようなものを用意して、地域の農産物等を販売する。	②	ご指摘の意見等については、「§6-4-4 定住・観光・防災等、まちづくりに必要な鉄道駅の拠点的役割の強化」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	p103
43	新駅には高森町の特産品を販売する施設も併設されることを希望します。	②	ご指摘の意見等については、「§6-4-5 観光振興と一体となった公共交通網の構築」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	P104-105
44	湧水トンネル公園からの阿蘇山の見晴らしも良くさらに併せて展望施設についても検討されますようお願いいたします。	②	ご指摘の意見等については、「§6-4-5 観光振興と一体となった公共交通網の構築」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	P104-105
45	・現在、南阿蘇鉄道の駅舎にお店が出店されているが、今後出店数を増やし南阿蘇鉄道駅舎としての一貫した解りやすいストーリーを作り観光客に明示し利用客の増加を目指すのいいのではないかと。そのためには駅舎に付随した貸店舗の設置、体験型店舗の誘致、外国人観光客にターゲットを絞った伝統の掘り起こし、南阿蘇の魅力の再発見などが必要になるのではないかと考える。	②	ご指摘の意見等については、「§6-4-5 観光振興と一体となった公共交通網の構築」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	P104-105
46	観光客誘致には最もアピールできる観光地の宣伝高森駅更に、バスターミナル交流センターなどに外国人にも理解しやすい、少し大きなはっきりした看板が必要だと思います。高森町だけではなく南阿蘇村にもたくさん観光地はあります。どうか南阿蘇鉄道全線開通には時間が数年必要としますが、少しずつでも観光客が増えますように良きアイデアを望みます。	②	ご指摘の意見等については、「§6-4-5 観光振興と一体となった公共交通網の構築」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	P104-105
47	・観光の列車としては最高だと思います。アナウンスに南阿蘇を抜群にアピールできるような運転手の方や車掌の方がいらっしゃればますます全国の方が来てくださると思います。景色では負けません。	②	ご指摘の意見等については、「§6-4-5 観光振興と一体となった公共交通網の構築」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	P104-105
48	南阿蘇各駅で、阿蘇の五岳の素敵な景色や野の花(名前も入れて)のデザインを使ったクリアファイルを作って販売して欲しい。絵はがきだけでなく!!一番先に買います。「お土産に工夫を!!」そしてアピールを!!	②	ご指摘の意見等については、「§6-4-5 観光振興と一体となった公共交通網の構築」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	P104-105
49	日々の業務、お疲れ様です。 南鉄復興に伴う観光推進に関するアイデアを提言しますので、ご検討ください。 ポイントは2点。 ・南阿蘇鉄道をより多くの人たちに周知させるためのアイデア ・南阿蘇鉄道下車後の観光地巡りの移動アイテム  南阿蘇鉄道をより多くの人たちに周知させるためのアイデアについて 1980年代〜90年代まで放映された、JR東海『シンデレラ・エクスプレス』のPVシリーズをご存知でしょうか？ 山下達郎のクリスマス・イブをBGMに恋人同士が駅での出会いと別れをストーリー化した、今見ても泣けるPVです。 現在、キリンのCMでは見晴台駅が若者の間では話題になり、「聖地巡礼」の場になっていることも事実です。 テレビ等でのCMの他、youtube等の動画配信を進めることにより、ワールドワイドに南阿蘇鉄道をPRする事が出来ると思います。 出会い・別れ・旅立ち・帰郷などのテーマで四季の風景を入れ込んだシリーズ化したPV制作を期待しています。 南阿蘇鉄道下車後の観光地巡りのアイテムについて トロッコ列車などを利用して高森町に訪れても下車後、移動アイテムが不備なので、様々な観光地・飲食店等を巡れないのが現状です。 そこで高森駅構内にレンタカー受付を配置し、南阿蘇を満喫したい観光客の利便性とニーズを向上させるべきです。	②	ご指摘の意見等については、「§6-4-5 観光振興と一体となった公共交通網の構築」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	P104-105
50	まちづくりについて観光の面からも高森駅の近くに多目的利用可能なホールなどが必要と考える。昭和41年代頃に熊本地区労などがトウキビ狩りなどで臨時列車で来てても雨が降ったりすればお客の居場所がなかったなど。少子高齢化社会で老人が多くなり、特に高齢者の自家用運転が困難になれば公共交通網が必要になると思われる。又、観光面でも新しいルートの開拓も必要ではないか、高森町長の考えておられる高森-阿蘇市の日ノ尾峠線の開発と観光パスの走行も一つの案にならないだろうか。	②	ご指摘の意見等については、「§6-4-5 観光振興と一体となった公共交通網の構築」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	P104-105
51	・高森駅構内に現在展示中の蒸気機関車を実際に動くように整備することが出来れば、観光の目玉となる可能性は十分あると思う。	②	ご指摘の意見等については、「§6-4-5 観光振興と一体となった公共交通網の構築」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	P104-105
52	・各地域にある大木その他珍しい自然の発掘をし、道路整備や案内板の設置をしたりして、観光に向けた工夫をする。	②	ご指摘の意見等については、「§6-4-5 観光振興と一体となった公共交通網の構築」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	P104-105
53	〔観光振興について〕 ・外国語通訳者の登録、外国人の雇用。事故・事件・緊急非常時には町民の中から通訳者を派遣する。・公衆トイレに障害者対応を常設する。	②	ご指摘の意見等については、「§6-4-5 観光振興と一体となった公共交通網の構築」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	P104-105
54	3の問題・課題については的確に把握していると思います。特に7の南郷谷内の公共交通手段がないのが気になっています。バス、タクシーなどの整備もよいですが、高森駅レンタカーがあるだけでいいがどう思います。また、レンタサイクルも整備し各駅で返却できるような仕組みがあればと思います。	②	ご指摘の意見等については、持続可能な公共交通網の構築等を前提としつつ、「§6-4-5 観光振興と一体となった公共交通網の構築」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	P104-105

NO	寄せられた意見・感想	反映区分	ご意見への対応	計画対応ページ
55	また、外国人観光客の利便性向上のためには、ネットで予約できるシステムが必要と思います。トロッコ列車は電話予約のみとなっており、外国人観光客には敷居が高いものとなっています。	②	ご指摘の意見等については、「§6-4-5 観光振興と一体となった公共交通網の構築」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	P104-105
56	交通網とありますが、南郷谷だけでなく阿蘇谷とも連携し、阿蘇山上を經由した阿蘇観光全体で考える必要があると思います。特に高森駅から阿蘇谷へ向かう路線がなく、一度立野まで戻る必要がある現状には大変不満です。直通便でなくとも、高森駅から草千里、阿蘇山上へのバスの設定はあるべきだと思います。	②	ご指摘の意見等については、「§6-4-5 観光振興と一体となった公共交通網の構築」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	P104-105
57	さらに言えば、県外になってしまいますが、高森から高千穂へのバスももっと増やし、高千穂への玄関口としての利用も喚起してほしいと思います。	②	ご指摘の意見等については、「§6-4-5 観光振興と一体となった公共交通網の構築」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	P104-105
58	問題点 1. 交通インフラ 南阿蘇鉄道の整備・充実 2. 宿泊インフラ 目玉となるブランド力のある中核宿泊施設を誘致する。	②	ご指摘の意見等については、「§6-4-5 観光振興と一体となった公共交通網の構築」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	P104-105
59	3. 観光ポイントの充実 今はあそ望の郷雄大な景観、白川水源、湧水群の天然水、温泉、この他にもミュージックガーデン、農林牧畜、山歩きなどポイントを抽出して具体化する。	②	ご指摘の意見等については、「§6-4-5 観光振興と一体となった公共交通網の構築」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	P104-105
60	②大字立野全体を公園化して、その中でももろの施設を建設したら、物産館、観光農園、ウォーキングコース(大橋を含め)、植樹し(桜、紅葉等)他。	②	ご指摘の意見等については、「§6-4-5 観光振興と一体となった公共交通網の構築」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	P104-105
61	③JR立野駅周辺から阿蘇観光遊覧コースを発着させるターミナル基地をつくつたらいののではないかと。たとえば南阿蘇、北阿蘇、中央阿蘇(中松から山上へ)コース等で、阿蘇全域の遊覧とする。大手観光企業との構築	②	ご指摘の意見等については、「§6-4-5 観光振興と一体となった公共交通網の構築」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	P104-105
62	②南阿蘇線の沿線での利用者は通勤、通学は限度がありますので、いかにトロッコ列車で効率を上げられるかと思えます。それには観光客を誘致して乗車させるか。○海外の旅行者、国内は県外旅行者 ○南阿蘇線各駅にて乗降者の時はレンタカーを準備してやる。(前もって連絡確認)○南阿蘇村・高森町の宣伝(南阿蘇線に乗りに来るような魅力)	②	ご指摘の意見等については、「§6-4-5 観光振興と一体となった公共交通網の構築」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	P104-105
63	2)観光客がよく利用されている駅には無料wi-fiを設置し、他施設も含めて設置個所を観光マップにおとす	②	ご指摘の意見等については、「§6-4-5 観光振興と一体となった公共交通網の構築」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	P104-105
64	4)朝食付の列車(南阿蘇村、高森町の地産農産物のスムージーやパンや野菜) 夜の列車(星空列車に乗って最近人気のある見晴台駅で星の説明をきく) 農業や観光とつながる企画列車を提案していく	②	ご指摘の意見等については、「§6-4-5 観光振興と一体となった公共交通網の構築」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	P104-105
65	5)インスタ映えのする写真の撮影ができるようにする。トロッコ列車の車掌さんが、ワンポイントで教えてあげるようにできるとよいのでは	②	ご指摘の意見等については、「§6-4-5 観光振興と一体となった公共交通網の構築」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	P104-105
66	(2) 南阿蘇鉄道の全線復旧後を見据えた沿線観光振興戦略(コンセプト) ① 提案型観光(待ちの観光からの脱却) ・体験型観光メニュー(農業体験、クラフト、スポーツ、料理、乗馬etc)の作成、提案 ・地域観光資産の掘り起こし(ジオパーク、名所旧跡、観光施設、温泉、食の施設、農業資産etc)・公共交通網との結び付け・サイクリング、ウォーキングのルート整備 ② 南阿蘇鉄道の途中駅をベースとした観光エリアを複数設定、各エリア毎に観光メニューを作成し提案する。 〈設定例〉立野駅エリア (観光資産)立野峽谷ジオパーク、震災遺構、復興ミュージアム新阿蘇大橋、長陽大橋、立野ダム、北向山原生林、温泉、イチゴ農園 (交通拠点)立野駅、復興ミュージアム(車利用客)、長陽駅(サブ駅) (交通網の策定)復興ミュージアムを道の駅化し車利用客の観光ベースとする。復興ミュージアムと立野駅間の公共バス連絡。復興ミュージアムと立野駅へのレンタサイクル配置。ゆるっとバスの新阿蘇大橋ルートと長陽大橋ルートの設定。復興ミュージアムを起点としたサイクリング、ウォーキングのルート整備 (モデルコースの設定) エリア内の観光モデルコースを設定し利用交通手段、所要時間、を表示した観光パンフレットや冊子(無償、有償)を作成する。利用交通機関の優待チケット等を検討する。 南阿蘇鉄道沿線エリア設定としては・高森駅(見晴台)エリア・白川水源駅エリア・南阿蘇水の生まれる里白水高原駅(中松)エリア・下田城ふれあい温泉駅エリア・長陽駅(加勢)エリア等が考えられる。	②	ご指摘の意見等については、「§6-4-5 観光振興と一体となった公共交通網の構築」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	P104-105
67	8)愛着わくにはやっぱり乗ってみないと。半年に一回くらい、村民さん・町民さんに無料でもいいから乗ってもらおう。	②	ご指摘の意見等については、「§6-4-6 住民・事業者・行政が連携した地域公共交通の利用促進と需要創出」等において、当該事業の検討にあたって参考にさせていただきます。	P106-107
68	2. 景観条例の統一、特に色は重要(看板規制)	②	ご指摘の意見等については、計画事業の実施にあたって参考にさせていただきます。	-
69	・「2. 南阿蘇鉄道沿線地域のまちづくりの方向性」に関して地震後の復興、復旧計画において、まちづくりの戦略の3つの柱に(定住)(観光)(防災)とするのは理解できる。 南阿蘇沿線地域の生活の主なベースは農業であり、地域には豊かな農業資産(田園風景、農産物、風習、信仰、料理etc)がある。 (定住)(観光)戦略を進めるにあたっては、南阿蘇地域の農業資産の魅力を引き出し拡大する観点から諸施策を策定すべきと考える。	②	ご指摘の意見等については、計画事業の実施にあたって参考にさせていただきます。	-
70	目標の中で現実的なのは観光入込客数350万人→770万人は達成してほしいと思います。ただ、現状1.2%の公共交通利用者の割合にもかかわらず、350万人の入込客が来られるので観光目的に特化した南鉄の意義は根拠が弱いように思います。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書2ページのとおり、地域住民の生活交通である南鉄は観光需要を取り込むことで維持している現状があります。今後のさらなる人口減少の中で、南阿蘇地域の定住促進等を行うためには、南阿蘇鉄道の創造的復興が不可欠です。また計画書46、100ページの記載のとおり、復旧期間中においては、熊本地震前の通勤・通学の定期利用はほとんど見込めない為、観光資源に特化した運転方法により、南阿蘇鉄道を通じた南阿蘇地域の観光認知度向上組を視野に入れた取り組みを計画しています。	P2、46、100
71	現在、高森町、南阿蘇村より大津及び市内の高校へ通学している学生はどの位の生徒数でしょうか？経済的に余裕ある家庭は下宿等で勉強しているのでしょうか、ある家庭では父親の会社勤務に便乗して通学している学生もいるそうです。	③	ご指摘の内容については、計画書23・24ページで高校生の通学状況についての記載がございます	P23・24
72	・小中生徒と家族への進路進学の調査はされておられますか。(今、小5の生徒が2023年は高1になります。)	③	ご指摘の内容については、調査は実施しておりませんが、計画書23・24ページで熊本地震前後での高校生の通学先の変化に関する分析をしております。	P23・24
73	「網」計画は立地適正化のような土地利用計画(都市施設の立地や居住地域の限定など)と同様、整合的な計画が必要だが、この両地域は今後、どのようにしていくつもりか、上位計画との関係も希薄な感じがする。	③	現時点では、既存の上位・関連計画においては、「§4-1-6 まちづくり戦略における3つの柱」に記載のとおり、定住・観光・防災を柱としており、それぞれのまちづくりが求める公共交通の役割を記載しています。	p63-73
74	1. 田舎なので広域に散らばり居住している。これからの人口減や高齢化は避けられない。しかし、まちづくりを推進するなら居住区の集約は必須。そのためには行政が主導し店舗や住宅を集約しながら公共交通機関を組み立てる必要がある。	③	現時点では、既存の上位・関連計画においては、「§4-1-6 まちづくり戦略における3つの柱」に記載のとおり、定住・観光・防災を柱としており、それぞれのまちづくりが求める公共交通の役割を記載しています。	p63-73
75	南阿蘇鉄道全線復旧と道路の復旧復興を早急にお願します。住民が安心と安全につながる生活と観光客、防災強化等、村づくりにつながる計画をお願いします。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書64・65、68・69、72・73ページで「定住」「観光」「防災」における公共交通ネットワークについての記載があるほか、97～107ページに取組(具体内容)について記載しております	P64・65、P68・69、P72・73、P99～107

NO	寄せられた意見・感想	反映区分	ご意見への対応	計画対応ページ
76	高森駅～立野駅まで交通機関の整備、利用者がもっと多く便利で安全な乗り物を考えていただきたい。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書64・65ページで「定住」における公共交通ネットワークについて記載があるほか、99ページに取組(具体内容)の1つとして鉄道・道路の段階的な復旧に対応したきめ細かな公共交通網の構築について記載しております	P64・65、P99
77	・通学などの利用を考慮しておく、若い人の移住(農業者を呼び込んで欲しい)も多くなると思う。高原野菜を買い取りに夏場観光客が増えるようになって欲しい。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書64・65ページで「定住」における公共交通ネットワークについての記載があるほか、100ページに取組(具体内容)の1つとして通勤・通学ルートへの組込の検討について記載しております	P64・65、P100
78	通勤通学に利用するとすると、高森から通勤で高森に通勤はなかなかないようで、その方向性も考えてはと思います。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書64・65ページで「定住」における公共交通ネットワークについての記載があるほか、100ページに取組(具体内容)の1つとして通勤・通学ルートへの組込の検討について記載しております	P64・65、P100
79	・まちづくりを実現するために解決が必要な公共交通の問題、課題 公共交通機関は、地域の人の生活の足であること、自立経営が成り立つことが前提としてあると考える。不通が続く間に別の移動手段が日常化する可能性があるため、不通期間でも地域の拠点であることを地域に意識してもらえ工夫が必要だと考える。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書64・65ページで「定住」における公共交通ネットワークについての記載があるほか、100ページに取組(具体内容)の1つとして地域住民との関わりを創造する取組の検討・実施について記載しております	P64・65、P100
80	地域住民にとって南鉄の駅から居住地間の公共交通機関の利便性がどうか。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書64・65ページで「定住」における公共交通ネットワークについての記載があるほか、101ページに取組(具体内容)の1つとして将来の地域住民ニーズに対応した持続可能な公共交通網の構築について記載しております	P64・65、P101
81	高齢化が進み免許返納をする人も増えていくと思われます。その様な方も安心して活用できる交通網をどう構築するか。願望として道交法を改正して高齢者限定免許(例えば昼間限定とか生活圏限定)等の免許証交付ができるのではないかと思っています。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書64・65ページで高齢者等身体的負担が大きい住民への南鉄を基軸とした各公共交通機関が果たす役割の記載があるほか、101ページに取組(具体内容)の1つとして高齢者世帯の分布等に配慮した交通手段の確保について記載しております	P64・65、P101
82	バスの発着を高森駅にする	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書64・65ページで「定住」における公共交通ネットワークについての記載があるほか、101ページに取組(具体内容)の1つとして各公共交通機関の連携の強化について記載しております	P64・65、P101
83	南阿蘇鉄道復旧するにあたって、南阿蘇鉄道を高森⇄大津間に乗り入れてほしい。JRのトンネルが完成すればJRが立野⇄大津がなくなる可能性があるため。また、立野での乗り換えをなくす。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書64・65ページで「定住」における公共交通ネットワークについての記載があるほか、101ページに取組(具体内容)の1つとして南阿蘇鉄道とJR豊肥本線との接続強化の検討について記載しております	P64・65、P101
84	住民の移動手段としては、鉄道の駅からショッピングセンターや病院をつなぐ乗り合いタクシーなどの設定があれば便利と思います。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書64・65ページで駅への二次交通についての記載があるほか、101ページに取組(具体内容)の1つとして将来の地域住民ニーズに対応した持続可能な公共交通網の構築について記載しております	P64・65、P101
85	計画の目標値が高く、実現可能な数値を示されたものと思います。具体的な方策を今後示して頂きたいと思えます。 世界には廃線の危機からよみがえった鉄道が多々あると聞きますが、重要なポイントは、広報企画などのコンテスト、無人駅舎などの民間活用等常識にとらわれない発想が必要と考えます。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書64・65ページで南鉄の駅の活用についての記載があるほか、103ページに取組(具体内容)の1つとして地域住民の集いの場としての駅の利活用の推進について記載しております	P64・65、P103
86	駅前コンビニや土産物店を置く	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書64・65ページで駅の拠点的作用についての記載があるほか、103ページに取組(具体内容)の1つとして主要駅における拠点整備について記載しております	P64・65、P103
87	南阿蘇鉄道は南阿蘇の観光立地のためには絶対的で最大の存在である。 1. 理想は豊肥線からの直接運転 2. 立野～高森の中間、南阿蘇村に拠点駅を整備する。例えば中松駅の拠点化 駅前、駅周辺の整備、店舗誘致、徒歩、自転車、バス、レンタカーで移動できる拠点にする。(多くの人に認識してもらえない) 今は途中駅に降りても白川水源に行くくらいしか活用の方法がない。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書64・65、68・69ページで駅の拠点的作用についての記載があるほか、99ページに取組(具体内容)の1つとして復旧状況に対応した「玄関口」(拠点)、「動線」(交通ルート)の設定について記載しております	P64・65、P68・69、P99
88	南鉄に関しては一刻も早い長陽駅までの開通が望まれます。長陽駅前も整備し、マイカーやタクシー、路線バスとの乗り継ぎの利便性を高めれば、全線開通までの時間もかせぐ事が出来ると思います。現在の部分開業区間のみでは南鉄の存在感は薄れていく一方と危惧します。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書64・65、68・69ページで「定住」における公共交通ネットワークについての記載があるほか、101ページには取組(具体内容)として各公共交通機関の連携の強化、103ページには主要駅における拠点整備(拠点性向上のための周辺整備を含む)について記載しております	P64・65、P68・69、P101、P103
89	・南阿蘇鉄道が軸になるような公共交通網の充実に加え、中松～あそ望の郷間など、観光客の回遊に繋がるサイクリングやまちあるきコースなど自由に回遊できる手段・コースプランを増やして欲しい。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書64・65、68・69ページで南阿蘇鉄道が軸になるような公共交通網の充実についての記載があるほか、104ページに取組(具体内容)の1つとして交通結節拠点から各観光施設への二次交通アクセスの向上について記載しております	P64・65、P68・69、P104
90	バス・乗合タクシーの活用	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書64・65、68・69、72・73ページでバス・乗合タクシーの活用についての記載があるほか、99～107ページに取組(具体内容)としてバス・乗合タクシーの活用について記載しております	P64・65、P68・69、P72・73、P99～107
91	南阿蘇沿線は白川を挟んで北側に設置している現状のため、南側に居住している住民に対して利便性が悪く遠ざかざるおえません。①バスを利用して各駅までのアクセスの充実を計る。②特に車を持たない高齢者には乗り合いタクシーもありますが、個人が自由な時間で目的地に出かけられるような工夫を懇願します。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書64・65ページで「定住」における公共交通ネットワークについての記載があるほか、99ページに取組(具体内容)の1つとして鉄道・道路の段階的な復旧に対応したきめ細かな公共交通網の構築について記載しております	P64・65、P99
92	地震前に比べ地震後はインフラやライフラインの必要性を感じ、交通機関も閉ざされましたが、南阿蘇村が村づくり(安心、安全)として早急の公共交通を解決してほしいと願っています。高齢者も今後多くなり、学生や生徒の通学の利便性を考えてほしい。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書64・65ページで「定住」における公共交通ネットワークについての記載があるほか、99～101ページに取組(具体内容)の1つとして鉄道・道路の段階的な復旧に対応したきめ細かな公共交通網の構築、将来の地域住民ニーズに対応した持続可能な公共交通網の構築について記載しております	P64・65、P99～101
93	住民はバスやタクシーを主要交通網とする。将来、EV車や自動運転車が普及すればそれに置き換える。タクシーは乗り合いタクシー制度を工夫して住民が目的の場所に安価な費用で行けるようにする。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書64・65ページで「定住」における公共交通ネットワークについての記載があるほか、101ページに取組(具体内容)の1つとして将来の地域住民ニーズに対応した持続可能な公共交通網の構築について記載しております	P64・65、P101
94	計画案に書かれている通り南阿蘇鉄道(各駅)を基点とした有機的交通網をぜひ構築してもらいたい。南鉄からバス・タクシーに乗りつぎ公共場所(村、町役場)や学校、病院等へスムーズに行くことが出来るよう、乗換時刻・時間を設定してもらいたい。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書64・65ページで「定住」における公共交通ネットワークについての記載があるほか、101ページに取組(具体内容)の1つとして鉄道と路線バス・乗合タクシー等との乗継利便性の向上(ダイヤの調整、運賃体系の整備等)について記載しております	P64・65、P101

NO	寄せられた意見・感想	反映区分	ご意見への対応	計画対応ページ
95	計画の目標数値を見てかなりシビアな状況だと思いました。南鉄の必要性を感じる住民の割合が多いのに実際に使っている人が少ないのはやはり潜在ニーズはあるのに利便性が悪いということでしょうか。住民利用については駅に接続するバスの時間の見直し等、しっかりニーズを把握し各事業所とすりあわせて頂けると助かります。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書64・65ページで「定住」における公共交通ネットワークについての記載があるほか、101ページに取組(具体内容)の1つとして鉄道と路線バス・乗合タクシー等との乗継利便性の向上(ダイヤの調整、運賃体系の整備等)について記載しております	P64・65、P101
96	1. 南鉄が中松までの区間と本数が少ない等の中、スクールバス、ゆるっとバス、タクシー等で現在よく対応されている。2年後の南阿蘇大橋、南鉄の長陽駅延長運転になれば、だぶらない線に見直し。2. 高森町、南阿蘇村とも人口減少と高齢化の問題を抱えており対策を。3. 課題1、2は南鉄が全線復旧まで仕方ない事、利用者、必要性を感じる住民(全世帯アンケート87%)が支援すべきと思います。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書64・65ページで「定住」における公共交通ネットワークについての記載があるほか、101ページに取組(具体内容)の1つとして南阿蘇鉄道を地域の基軸(幹線)、それに接続するバスや乗合タクシー等の各交通機関を二次交通と位置づけた交通網の構築について記載しております	P64・65、P101
97	交通弱者、高齢化、免許(運転)の返却等の為の対策。買物、通学、通院に利用できる交通手段の確保を特に望む。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書64・65ページで「定住」における公共交通ネットワークについての記載があるほか、101ページに取組(具体内容)の1つとして将来の地域住民ニーズに対応した持続可能な公共交通網の構築について記載しております	P64・65、P101
98	○鉄道とバスがタイアップし、そのダイヤを合同で作り、お客の利便性を上げる。鉄道の時刻表に最寄りのバス停の時刻も記載する。運行時間の空白帯(間隔が余り大きく空かないようにする)	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書64・65ページで「定住」における公共交通ネットワークについての記載があるほか、101ページに取組(具体内容)の1つとして鉄道と路線バス・乗合タクシー等との乗継利便性の向上(ダイヤの調整、運賃体系の整備等)について記載しております	P64・65、P101
99	私が住む地域から鉄道各駅に行く公共交通がなく駅まで行くのに車(自家用車)に頼っています。高齢になり、車の運転が困難になると公共交通網が頼りです。集落から歩いて行ける所にバス停がある事が望まれますが、なかなかできない事だと思います。でも各集落から主要施設を回るルートバスがあればと思います。今までゆるっとバスがありました。観光地が多く住民が利用したい郵便局や店など生活に必要な所に停留所がなかったように思います。公共交通を観光目的にするのか、生活利用目的にするのか方向性を考える事も必要かと思えます。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書64・65ページで「定住」における公共交通ネットワークについての記載があるほか、101ページに取組(具体内容)の1つとして高齢者世帯の分布等に配慮した交通手段の確保について記載しております	P64・65、P101
100	○貸切に出来るようにする。地域住民のレクリエーション、学習会等又は観光客(グループ、学校単位で)に利用してもらう。地震により南阿蘇には沢山の宝がある事を再認識しました。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書64・65ページで南鉄の駅を活用した地域主導での夜市や盆踊りといったコミュニティ活動、多世代交流イベント等の実施についての記載があるほか、103ページに取組(具体内容)として地域住民の集いの場としての駅の利活用の推進、107ページに取組(具体内容)として貸切型イベント列車について記載しております	P64・65、P103、P107
101	○住民同士の交流が欠かせない地域再生こそ真の復興となる。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書65ページで待合室を児童・生徒等の住民に広く開放し、駅空間を活用した多世代交流の仕掛けづくりについての記載があるほか、103ページに取組(具体内容)の1つとして地域住民の集いの場としての駅の利活用の推進について記載しております	P65、P103
102	○南阿蘇村で観光、農業活性化に尽力している人々との触れ合う場を深め、本質を学び豊かな村づくりに貢献する。○語り継ぐ災害の恐ろしさを決して風化させてはなりません。延々と子供達に伝え続けたいものです。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書65ページで待合室を児童・生徒等の住民に広く開放し、駅空間を活用した多世代交流の仕掛けづくりについての記載があるほか、103ページに取組(具体内容)の1つとして地域住民の集いの場としての駅の利活用の推進について記載しております	P65、P103
103	高森駅～立野駅間各駅の魅力化を図る。各駅で地元産の野菜や土産品などが自由に買えるようなレールバス運行を工夫する。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書68・69ページで高次観光サービス機能を有する観光拠点役割についての記載があるほか、100ページに取組(具体内容)の1つとして復旧期間中(部分運転中)における鉄道の活用方法の検討・実施について記載しております	P68・69、P100
104	観光客にとっても南鉄の駅から観光ルートめぐりの交通がどうか。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書68・69ページで南鉄の駅から観光ルートについての記載があるほか、103ページに取組(具体内容)の1つとして駅における各公共交通機関の結節強化について記載しております	P68・69、P103
105	平成30年度～44年度までの15年間、高森町・南阿蘇村の居住総人口は予想以上に減少傾向が伺えます。少子高齢化の波は今日以上に押しよせて来ることが予想されます。南鉄が全線復旧した時点では遅いので、今から南鉄利用の観光入込客数と観光案内人を増やし、民泊数の促進等最低でも2泊～3泊して頂けるような計画を立てる事が大事ではなからうかと考えています。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書68・69ページで「観光」における公共交通ネットワークについての記載があるほか、103ページに取組(具体内容)として主要駅における拠点整備(拠点性向上のための周辺整備を含む)について、また、104・105ページには観光振興と一体となった公共交通網の構築について記載しております	P68・69、P103、P104・105
106	計画案等拝見しましたが、これからの人口減及び高齢者も免許所有の時代を迎え、住民の利用を増やすことは極めて困難でしょう。もし無料化にしても、駅までの交通の便を考えると車かタクシー利用が自然だと思えます。例えば鉄道関係や役場、職員さんの家族を含めどれだけ利用されているかを聞いてみると現実が見えてくるでしょう。まちづくりや防災等の大切な要素も多々あります。まずは町、村復興のために観光に特化した政策が生き残る道だと思います。収入1.5億円の目標は南阿蘇全村民が年間30回以上利用する計算になります。役場、教員、関係者が通勤に利用しても全く足りません。それより、9%しか利用していない観光利用を伸ばす以外ないのではないのでしょうか。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書68・69ページで「観光」における公共交通ネットワークについての記載があるほか、103～107ページに取組(具体内容)として観光振興について記載しております	P68・69、P103～107
107	交通網を整備し、自然を活かした観光客誘致の工夫を進める。・登山口までの案内や輸送手段等の整備をし、初心者、家族連れでも楽しめるようにする。(例:阿蘇山(根子岳コース、中岳コースなど) 祖母山、清栄山、その他)	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書68・69ページで地域の幹線として他の交通機関と連携しながら、観光客の地域内外の移動を担うについての記載があるほか、104ページに取組(具体内容)の1つとして交通結節拠点から各観光施設への二次交通アクセスの向上について記載しております	P68・69、P104
108	そして、水源、文化施設めぐりや久木野や色見上色見観光への足がかりとして、駅内のレンタサイクル事業を提案します。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書68・69ページでレンタサイクルについての記載があるほか、104ページに取組(具体内容)の1つとして周辺を周遊できるサイクリングコースの整備、各駅にサイクルステーションを整備することについて記載しております	P68・69、P104
109	海外の観光客はレンタカーが主流になると考えられる。トレッキングやサイクリング、湧水・観光地巡り、農家民宿等、滞在して楽しめる場所を提供する。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書68・69ページで「観光」における公共交通ネットワークについての記載があるほか、104ページに取組(具体内容)の1つとして周辺を周遊できるサイクリングコースの整備等について記載しております	P68・69、P104
110	また観光利用に関しては、箱根等の先進地の例を見て、車なしでも観光できるようになると良いと思います。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書68・69ページで「観光」における公共交通ネットワークについての記載があるほか、104ページに取組(具体内容)の1つとして観光振興と一体となった公共交通網の構築について記載しております	P68・69、P104
111	○お客が利用しやすい環境を整えること(便数が多い。空白時間が少ない。車がなくとも何とかなる。)	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書68・69ページで「観光」における公共交通ネットワークについての記載があるほか、104ページに取組(具体内容)の1つとして交通結節拠点から各観光施設への二次交通アクセスの向上について記載しております	P68・69、P104

NO	寄せられた意見・感想	反映区分	ご意見への対応	計画対応ページ
112	○人が観光サイトを楽に行き来出来るようにする。尚、その手段も各種設置する様に(自転車、巡回タクシー、馬車、バイク、電動車)	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書68-69ページで「観光」における公共交通ネットワークについての記載があるほか、104ページに取組(具体内容)の1つとして交通結節拠点から各観光施設への二次交通アクセスの向上について記載しております	P88-69、P104
113	○下記のように駅、観光施設、お店、病院を周遊する定時周遊乗り合いタクシーを運行する。[出来れば均一料金] 駅～バス停～あそ望の郷～大きな店～山村酒造～鉄道～観光サイト(ファームランド)～駅～バス停	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書68-69ページで「観光」における公共交通ネットワークについての記載があるほか、104ページに取組(具体内容)の1つとして阿蘇くじゅう観光圏や熊本都市圏等との広域観光ルートの整備について記載しております	P88-69、P104
114	○各駅に電動アシスト自転車を完備し各駅乗り捨て可とする(コインで解錠)	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書68-69ページでレンタサイクルについての記載があるほか、104ページに取組(具体内容)の1つとして各駅にサイクルステーションの設置等について記載しております	P88-69、P104
115	南阿蘇鉄道は日常生活で使った事ではなく観光列車とのイメージです。住んでいる所から最寄りの駅までの交通手段がなく車で移動になってしまいます。観光として考えても各駅から観光スポットへのアクセスがむづかしい気がします。南阿蘇鉄道に乗って風景を楽しむには良いのですが、それ以外の利用を考える事が必要だと思うのですが、むづかしい課題だと思います。人気の観光スポットを調べ、駅からその場所へ車がなくとも移動する方法があれば良いと思います。まずは人々(観光客)がどんな所、どんな事を望んでいるのかする必要があります。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書68-69ページで「観光」における公共交通ネットワークについての記載があるほか、104ページに取組(具体内容)の1つとして観光振興と一体となった公共交通網の構築について記載しております	P88-69、P104
116	○立野駅(高森駅)及び周辺地区の魅力度アップ・駅周辺の土地の整備と建築物の整備(道の駅、展望所、レストラン、カフェ、温泉、物産館など)・地の利を生かした情報発信基地とする。(世界ジオパーク、世界農業遺産、阿蘇くじゅう国立公園等の恵まれた観光資源を生かす。 ・リピーターの増加、国内外からの観光客の増加を図り、駅周辺、南阿蘇鉄道の活性化を図る。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書68-69ページで「観光」における公共交通ネットワークについての記載があるほか、104ページに取組(具体内容)の1つとして阿蘇くじゅう観光圏や熊本都市圏等との広域観光ルートの整備について記載しております	P88-69、P104
117	鉄道沿線の地図を用意しレンタル自転車を設置、観光客や地域の人々に利用してもらいようにする。(サイクリングロード等)地域の住民の足となるようにする。車の運転をする事なく買い物に行けるような工夫をする。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書68-69ページでレンタサイクルについての記載があるほか、104ページに取組(具体内容)の1つとして周辺を周遊できるサイクリングコースの整備、各駅にサイクルステーションの設置等について記載しております	P88-69、P104
118	・南阿蘇鉄道沿線の観光と地域公共交通網の形成 (1)これまでの沿線観光の問題点 過去および現状の南阿蘇鉄道による観光は、トロッコ列車に代表されるように、高森駅から立野駅(現状は中松駅)間の列車による車窓からの観光が主となっており、途中駅で下車観光するのは精々白川水源駅くらいであり、その他の駅が観光の起点として利用されることは殆ど無い。 また、地域循環バスも鉄道とほとんど連携がないため、鉄道利用の観光客がバスを利用することも殆どみられない。 このため現状の鉄道利用の観光客は外国人団体/バスツアー客か、鉄道マニア、鉄道好きの家族連れに限られた区間を利用することとなり、域内観光地の広がりがみられない。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書68-69ページで「観光」における公共交通ネットワークについての記載があるほか、104ページに取組(具体内容)の1つとして交通結節拠点から各観光施設への二次交通アクセスの向上について記載しております	P88-69、P104
119	○トロッコ列車の外装を楽しいものに。駅のトイレを清潔に。○定期的に親子で楽しめる企画を(絵本読み聞かせ・音楽会)有料で。○定期的に中高年向け企画を(カラオケ、かくし芸、軽食付き)有料で。○星空ツアーにバスを利用して親子で簡単に楽しめる企画を有料で。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書68-69ページで「観光」における公共交通ネットワークについての記載があるほか、105ページに取組(具体内容)の1つとして魅力ある新車両の導入(ラッピング列車)について記載しております	P88-69、P105
120	9)一日乗車券で乗り降り自由にする。 全線復興するよう応援しています。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書68-69ページでワンデーフリーパスについての記載があるほか、107ページに取組(具体内容)の1つとして公共交通機関で周遊できる「ワンデーパス」等について記載しております	P88-69、P107
121	※将来は今回の地震以上の大地震や集中豪雨、阿蘇山の大噴火、寒波など、これまでは予想されない規模が予想されている。これらから逃げる方策の検討がとて大切だと考える。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書73-74ページで「防災」における公共交通ネットワークについての記載があるほか、106ページに取組(具体内容)の1つとして公共交通と連携した避難訓練の実施について記載しております	P72-73、P106
122	明快で分かりやすい数値目標を作る。「南阿蘇に世界からの観光客を年間100万人呼び込む」	③	ご指摘の内容については、計画書93ページのとおりです。具体的には「南阿蘇地域に世界からの観光客を年間770万人以上呼び込む」こと等を目標値としています。	P93
123	「4. 南阿蘇鉄道沿線地域公共交通網形成計画案」に関して ①(4)計画の目標値の設定について目標値設定における現在値が震災後のH28年あるいはH29年のデータが使用されているが、震災前のH27年のデータを基準値とするか、または前後を併記すべきである。 震災前の値が示されていないと目標設定値が妥当なのか判断できない。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書93ページで熊本地震前の評価指標の状況についての記載しております	P93
124	各場の利用がどうしても減るのは仕方がないと思うけれども、何度も来てみたいとリピーターになってもらうように願っています。鉄道を利用した催し事のPRを今一度強化してはとも。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書97ページに取組(具体内容)の1つとしてメディアを活用したPRの強化について記載しております	P97
125	・駐車場整備(バス、タクシー、一般人)	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書101ページに取組(具体内容)の1つとして各公共交通機関の連携の強化について記載しております	P101
126	鉄道とバス、タクシーの連携が全く見えません。HPなどどこにも紹介されていなく分かりづらいです。鉄道とバスは一つの会社や団体が運営することが他地域の成功例を見てわかると思います。できなくても努力と連携はもっと働きかけ、発着情報は一つにするべきだと思います。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書101、103ページに取組(具体内容)の1つとして各公共交通機関の連携の強化を記載しており、駅舎関係者等と連携したタクシー呼び出しシステムの導入拡大や鉄道・路線バス・乗合タクシー等の乗り継ぎ利便性の向上等について記載しております。	P101、103など
127	・案内板設置・トイレ整備	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書103ページに取組(具体内容)の1つとして主要駅における拠点整備について記載しております	P103
128	○交通の要所、災害にみまわれた立野駅周辺の整備。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書103ページに取組(具体内容)の1つとして主要駅における拠点整備(拠点性向上のための周辺整備を含む)について記載しております	P103
129	○各駅の魅力度をアップする。(駅毎に特徴を打ち出す)・・・おいしい食べ物、飲み物駅周辺を電子掲示板で紹介する。→案内者も紹介、店も。展示(写真、絵、模型)	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書103ページに取組(具体内容)の1つとして主要駅における拠点整備(拠点性向上のための周辺整備を含む)について記載しております	P103
130	⑥立野駅周辺の開発・準備	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書103ページに取組(具体内容)の1つとして主要駅における拠点整備(拠点性向上のための周辺整備を含む)について記載しております	P103
131	また、公共交通機関は、複数の地域をつなぐ役割がある。このことから、まちづくりの視点で公共交通を考えると、人を呼び、人と繋がることを目指す必要がある。全線開通と、大津などへのJR豊肥本線への乗り入れを行い南阿蘇の外へ繋がるのがまちづくりを実現すると思う。	③	ご指摘の内容については、計画書104ページに取組(具体内容)の1つとして南阿蘇鉄道とJR豊肥本線との接続強化の検討の中に南阿蘇鉄道の豊肥本線乗り入れについて記載しております	P104
132	住み続けることができる集落運営、交通利便性向上、住宅整備だと思っています。現在、交通機関が運休になっているので、とても不自由している。今後はこの前新聞に載っていたように大津駅まで延長して、大津駅で乗り換えした方が便利と思う。	③	ご指摘の内容については、計画書104ページに取組(具体内容)の1つとして南阿蘇鉄道とJR豊肥本線との接続強化の検討の中に南阿蘇鉄道の豊肥本線乗り入れについて記載しております	P104

NO	寄せられた意見・感想	反映区分	ご意見への対応	計画対応ページ
133	湧水トンネル入口に「湧水トンネル公園駅」を新設するべきと考えます。	③	ご指摘の内容については、計画書105ページで新駅(高森湧水トンネル駅(仮称))の設置について記載しております	P105
134	新しい駅の設置	③	ご指摘の内容については、計画書105ページで新駅(高森湧水トンネル駅(仮称))の設置について記載しております	P105
135	同時に車内への自転車持ち込み可も大切なアイデアです。鉄道を起爆剤とした抜本的な収入増構想と駅周辺の活性化から便数の確保につなげ、住民の足としての定着を図ることを提案します。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書105ページに取組(具体内容)の1つとしてサイクルトレイン(自転車の持込乗車)について記載しております	P105
136	また、複数駅に駐車場を整備しパーク&ライド方式を推進する。 ・通勤、通学の利便性が大幅に改善され利用者が増える ・熊本方面からの観光客の誘致にも効果的	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書106ページに取組(具体内容)の1つとしてパーク&ライド(駐車場整備)について記載しております	P106
137	沿線沿いの荒地をなくして、色々な花を植えてはどうでしょう、木々もいいのではないのでしょうか。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書106ページに取組(具体内容)の1つとして環境美化、駅・バス停の魅力向上について記載しております	P106
138	線路沿いにウォーキング、サイクリングができる遊歩道を作り、花を植える。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書106ページに取組(具体内容)の1つとして環境美化、駅・バス停の魅力向上について記載しております	P106
139	○静寂の谷底にある鉄道マニアから脚光を浴びる「観光列車南阿蘇の秘境」地元の魅力再発見。立野スイッチバックの歴史、伝統芸能など色んな作成によりPRの強化、伝統文化など。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書106ページに取組(具体内容)の1つとして広報誌やケーブルTV等を活用した、公共交通に関する積極的な情報提供について記載しております	P106
140	○広報誌では住民目線でレイアウトや絵などノウハウを活かしイベント掲載が集中するよう写真、文章をバランスよく配置し眺みたくなるようにするの子ども達に目を引くのではないのでしょうか。(子供の作品)	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書106ページに取組(具体内容)の1つとして広報誌やケーブルTV等を活用した、公共交通に関する積極的な情報提供について記載しております	P106
141	地震前に比べると南阿蘇での生活は不便だと感じています。全てが震災の影響を受けています。昔から南阿蘇鉄道はあってあたり前でした。通勤、通学、観光面でも重要ですし、高齢になって、運転免許証返納した時、買物、病院受診などという風にしたら良いか不安です。バス、タクシーなど地域のいろんな所から近くの駅まで交通網が連絡している事、○鉄道の利用者が少ないという点では、鉄道で行く高森までの自然の風景など四季折々素晴らしいものがあるようですし、もっとPRして利用者を増やすべきです。	③	ご指摘の内容については、106ページに取組(具体内容)の1つとして利用促進策の検討・実施について記載しております	P106
142	6)高森町観光案内できる人を高森駅に。(土日、夏休み、GWのみでも)観光案内や、自転車等の利用にもよい。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書106ページに取組(具体内容)の1つとしてアテンダントの配置について記載しております	P106
143	水資源等有るのは、前の名水百選等で知っている方も多いと思いますが、地域のボランティア等の協力で活性化してほしい。水源回りしてパークゴルフ等組み合わせ、半日か1日南阿蘇等の散策等の計画・実施してほしい。ボランティア等の協力必要では。立野、長陽、下田、中松、白川、両併等の駅におり、散策してほしい。高森～立野までの通過駅だけでは、南阿蘇村はお金が落ちる村にする事が大事では。	③	ご指摘の内容については、例えば、計画書107ページに取組(具体内容)の1つとして公共交通を組み合わせたいイベント・ツアーの開催について記載しております	P107
144	東側は北の阿蘇谷方面へのアクセスの大幅改善をはかる。 そのため日ノ尾峠周辺の地下をくりぬいてトンネルを通し阿蘇市の宮地駅へ乗入れる(トンネルは車と南鉄上下分離方式でも良い)。高森駅で行き止まりという路線は最悪、豊肥線と結んで循環路線とすべき。 ・阿蘇谷地域との交流が活発化し阿蘇地域全体の一体感が増す ・大分方面からの観光客の南阿蘇地域へのアクセスが容易になる。	③	阿蘇くじゅう観光圏整備計画等の着実な実行等に向け、関係機関と連携した道路交通ネットワークの整備・維持管理に努めます。	-
145	南阿蘇を一周できるよう新たに線路をつくる。	③	阿蘇くじゅう観光圏整備計画等の着実な実行等に向け、関係機関と連携した道路交通ネットワークの整備・維持管理に努めます。	-
146	南阿蘇鉄道を南郷谷の中で環状線にする。	③	阿蘇くじゅう観光圏整備計画等の着実な実行等に向け、関係機関と連携した道路交通ネットワークの整備・維持管理に努めます。	-
147	環状線にすることで南郷谷を360° 景色を堪能できる事になり観光客にも喜んでもらえる	③	阿蘇くじゅう観光圏整備計画等の着実な実行等に向け、関係機関と連携した道路交通ネットワークの整備・維持管理に努めます。	-
148	観光振興と一体となった公共交通網の構築をあげました。今後は観光施設をもっと増やしたらどうだろうかと思います。	③	南阿蘇村総合計画にありますとおり、地域のにぎわいをつくる商工観光業の振興に努めてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。	-
149	復旧・復興であれ新しいまちづくりであれ、道路網整備なしには考えられない。道路網は「道」と「交通手段」を分けて検討。「道」は南阿蘇村内道路と村内と村外を結ぶ道路に分ける。村外へ出入りする道路は白川を渡らないルートを考える。	③	例えば、南阿蘇村復興まちづくり計画で、社会生活基盤再生への取組の1つとして、道路整備等の記載があります。今後も国・県・関係市町村と連携し、道路政策等を進めてまいりますので、ご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
150	又、アスペクタの桜、グリーンピア南阿蘇の宿泊施設の周辺を整備(リフレッシュ・ランド)して、少ない費用で滞在型ツーリズムを実現する。	③	南阿蘇村総合計画にありますとおり、地域のにぎわいをつくる商工観光業の振興に努めてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。	-
151	⑦修学旅行生の誘致(国内・海外)宿泊まで出来るか。	③	南阿蘇村総合計画にありますとおり、地域のにぎわいをつくる商工観光業の振興に努めてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。	-
152	①国道57号線、熊本から立野までは四車線になります。(現在工事進行中)。今は地震災害で人口は減少しましたが、JR(将来立野駅まで電化)、四車線化で大変便利になります。熊本方面へは交通便も大変便利になります。又、立野はスイッチバックもあり素晴らしい景色もあります。そこで大手不動産と連携しながら住宅団地を振興すれば人口は必ず400戸ぐらいにはなるのでは、南阿蘇村の収入も増えてくるのでは、阿蘇地域は企業誘致するのは難しいと思います。火山地帯になっていますから、やっぱり観光目玉で繁栄しなければ発展しないと考えられます。立野地域には阿蘇大橋、長陽大橋、立野ダム、水力発電所、南阿蘇鉄道等が復興すれば他にない村づくりが振興出来ると確信します。	③	地域のにぎわいをつくる商工観光業の振興に努めてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。	-
153	「南阿蘇鉄道の創造的復興が観光の創造的復興の礎」とありますが、99%の観光客が南鉄を利用せずにかつ350万人/年の入込客がある現状からなぜ「礎」なのかの根拠をもっと具体的に示してほしいと思います。	③	ご指摘の内容については、例えば高森町熊本地震復旧・復興計画に同様の記載があります。具体的には、風光明媚な景色の中を走る南阿蘇鉄道のトロッコ列車は、年間約5万人もの利用者があり、また、訪日外国人の利用も増加傾向にある中で政府は、訪日外国人旅行者数を2020年には4,000万人、2030年には6,000万人にすることを目標に掲げており、今後、南阿蘇鉄道を利用する訪日外国人旅行者は増加していくことも想定されます。こうした状況を考え、南阿蘇鉄道は、地震で大きな被害を受けた南阿蘇地域の観光の創造的復興の礎となるものと考えております。	-
154	絶対必要であります。 今後の町づくり(観光方面) 山東部の人口減少活年化に役立つのでは。 役場を中心に色々な施設物産館又工場など利便性の強い施設を。 1.地方創生(現実見えていない) 2.鉄道沿線に大きな工場を持つてくる 3.山東部の方は、原野等相当広大な土地があります(大きな企業を持つてきては)	③	今後も関係機関等への働きかけを継続しつつ、引き続き、企業誘致も含めしごとの創出に努めてまいります。	-
155	・沿線沿いの空地に大型企業誘致 ・山東部への大型工場誘致(草部南部、定住方)	③	今後も関係機関等への働きかけを継続しつつ、企業誘致も含めしごとの創出に努めてまいります。	-
156	人口減少歯止め企業誘致により働く場所の確保が望まれます。	③	今後も関係機関等への働きかけを継続しつつ、しごとの創出に努めたいと考えます。	-



NO	寄せられた意見・感想	反映区分	ご意見への対応	計画対応ページ
157	大型店舗の計画。観光農業を支える。	③	今後も関係機関等への働きかけを継続しつつ、しごとの創出に努めたいと考えます。また、高森町・南阿蘇村にとって観光と農業は重要な産業です。これらの産業振興を引き続き推進してまいります。	-
158	また、外国人観光客が高森駅周辺に泊まれるように宿泊施設・食事できるところをつくったほうが良いと思います。	③	今後も関係機関等への働きかけを継続しつつ、観光客にとって魅力ある環境づくりに努めてまいります。	-
159	定住のために具体的にどの様な仕事を提供できるかどうか。	③	当該計画はあくまでも南阿蘇地域における公共交通のあり方の計画となりますが、ご指摘のとおり、定住促進のためにはしごとの創出が重要であり、こちらについても引き続き取り組んでまいります。	-
160	又、南阿蘇地域をカバーする総合病院や若者たちの定住を進めるためにも小児科の誘致を是非検討して頂きますようお願いいたします。	③	当該計画はあくまでも南阿蘇地域における公共交通のあり方の計画となりますが、ご指摘の内容も踏まえ、引き続き定住の促進に努めてまいります。	-
161	私個人的にも熊本市内に親戚、更に子供連も居住していますので時折、自家用車にて出掛けますが、少しは短時間になりましたが、南阿蘇鉄道の復旧には4~5年位必要でしょうが、先ずは道路復旧が先に最も安全に運転しやすい幅員が欲しいです。特に栃ノ木駐在所から栃ノ木温泉間の急なカーブと坂道は冬場の凍結時は女性又高齢者の運転は困難だと思います。観光客動線にも安全な道路が第一だと思います。	③	当該計画はあくまでも南阿蘇地域における公共交通のあり方の計画となりますが、ご指摘のとおり観光客の誘致に当たって安全な道路は重要であり、ご指摘の内容も踏まえ引き続きまちづくりに取り組んでまいります。	-
162	南阿蘇鉄道を利用して、人口を増加させたりするには、高森町内に企業・工場等全国から応募して若者が出て行くことに歯止めし、他の市町村からも鉄道に乗ってきてもらい働ける場所になれば町も活気付くと思います。	③	当該計画はあくまでも南阿蘇地域における公共交通のあり方の計画となりますが、ご指摘のとおり、町の活性化のためにはしごとの創出が必要です。引き続き、企業誘致も含め、しごとの創出に努めてまいります。	-
163	暮らしやすい村づくり。→農業、移住、定住促進につながる村づくりの方向性をお願いします。	③	当該計画はあくまでも南阿蘇地域における公共交通のあり方の計画となりますが、ご指摘の内容は例えばまちひとしごと総合戦略等で定住のための仕事創生について触れておりますのでそちらをご参照ください	-
164	【移住・定住の促進】 高森・南阿蘇には好印象で魅力的と感じている若者が多いです。そこで、衣(居)食(職)住(習)について優遇制があったらいいですが、PRの冊子がありましたら教えてください。	③	当該計画はあくまでも南阿蘇地域における公共交通のあり方の計画となりますが、高森・南阿蘇村の魅力をもっとPRするため、移住・定住のPR冊子を作成し、役場窓口で配布するなどしておりますので、ご活用ください。	-
165	〇「おひとり様稼働社会」が予想される中、田園村落では心配も残ります。〇若者の流出を防ぎ若者を定住させる自然と共存する提案も重要課題といえそうです。	③	当該計画はあくまでも南阿蘇地域における公共交通のあり方の計画となりますが、ご指摘の点は重要な課題であり、引き続き若者の流出を防ぎ、若者を定住させる取組を進めてまいります。	-
166	2. 南阿蘇村は南阿蘇駅(仮称)周辺はとくに南側は全面的に宅地として改修工事して移住・定住しやすい村とする。	③	当該計画はあくまでも南阿蘇地域における公共交通のあり方の計画となりますが、ご指摘の内容は他の関連計画等の整合を踏まえながら、必要に応じて参考にさせていただきます。	-
167	道の駅にはかなりの人が集まるが国道325沿いにも道の駅は出来ないのか。独自の道の駅等は出来ないのか？	③	当該計画はあくまでも南阿蘇地域における公共交通のあり方の計画となりますが、ご指摘の内容は他の関連計画等の整合を踏まえながら、必要に応じて参考にさせていただきます。	-
168	〇全ての交通機関・交通網の整備を南阿蘇鉄道一辺倒から少し引いて検討してみる。本当に鉄道の復旧(確保)に大量の予算や時間を費やす方法しかないのか。バスの力では何が足りないのかを改めて考えてみる。	③	計画に記載のとおりとなりますが、南阿蘇鉄道は通勤通学等の日常生活を支える定住促進に不可欠な交通資源であり、観光まちづくりの実現に不可欠な交流資源でもあります。また、47ページに記載のとおり、地域住民の5割が「道路の積雪などで車やバスが利用できない時の有事の移動手段として必要」と回答している状況にあります。私たちの南鉄を始めとする公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	P47ほか
169	莫大な予算をかけて、本当に将来に向けて南阿蘇鉄道の全線復旧が必要か疑問である。費用対効果を見た場合、過疎化の進行、住民の高齢化、莫大な金、ネットワークとしての利便性etc. 観光にとっては必要とは思。できればそれにこした事はないが、そのお金を他に使用したらと感じます。	③	計画に記載のとおりとなりますが、南阿蘇鉄道は通勤通学等の日常生活を支える定住促進に不可欠な交通資源であり、観光まちづくりの実現に不可欠な交流資源でもあります。また、47ページに記載のとおり、地域住民の5割が「道路の積雪などで車やバスが利用できない時の有事の移動手段として必要」と回答している状況にあります。私たちの南鉄を始めとする公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	P47ほか
170	南阿蘇鉄道と沿線の街づくりについて 南阿蘇村 高森町にとって 南阿蘇鉄道は本当に必要なか？ 自然の環境に対して脆弱な施設のように見える。 観光の目玉にはなり得ていない。通学通勤買物の足としての機能も中途半端である。 どうすればよいのか？① 廃線して別の用途を考える。② この鉄道を廃止し その部分を整地する A遊歩道の作成 Bサイクリングロードの併設 C 今のトロッコ列車に変わるものとして 馬車を走らせる なぜ？ 観光客の誘致を求めるのであれば そのニーズに合った施設づくりが必要だ。観光目的であれば トロッコ列車より ゆったりと観光のできる馬車の方がインパクトが強い。 また 自転車を使ったり ウォーキングによる ロースピード観光はこれから場が高まる。 沿線には 水源という目玉施設もあるし 季節によっては桜も見どころ 今後 この施設の両サイドに四季折々の花を植える フラワーロード または レインボウロードとして告知し 魅力ある南阿蘇を売り出すとよい。 メリット 赤字の出る鉄道を修復するよりコストがかからない上に メンテナンスも簡単。しかも今鉄路に関わっている人数以上に雇用の機会が増える。今の駅舎は 売店(土産物+スナック) 休憩所として活用できる。思い切った変革を考えないと南阿蘇はじり貧に陥ることは必定。	③	計画に記載のとおりとなりますが、南阿蘇鉄道は通勤通学等の日常生活を支える定住促進に不可欠な交通資源であり、観光まちづくりの実現に不可欠な交流資源でもあります。また、47ページに記載のとおり、地域住民の5割が「道路の積雪などで車やバスが利用できない時の有事の移動手段として必要」と回答している状況にあります。私たちの南鉄を始めとする公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	P47ほか
171	利用者の著しい減少による経営状況の悪化。復旧状況に対応した玄関口(拠点)動線(交通ルート)の設定	③	例えば、計画書99ページなどに同様の記載があります。私たちの南鉄を始めとする公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	P99~100
172	観光立町の実現、イベントの開催、昨年も多数人が集まってにぎやかだった。南鉄の早期復旧を願いたい。・高齢になり運転免許返納を考えると昔はタクシーかバスしかなく通院に不便をきたす。 一刻も早く南鉄の復興をお願いしたい。	③	計画に記載のとおりとなりますが、私たちの南鉄を始めとする公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
173	熊本市圏域までの30分構想はすばらしいと思います。実現に向け前進されてください。	③	計画に記載のとおりとなりますが、私たちの南鉄を始めとする公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-

NO	寄せられた意見・感想	反映区分	ご意見への対応	計画対応ページ
174	道の無い所には、人も通らず又、住まぬと言われております。大津まで延線となれば利用客も多くなり観光面も広がり、地元の人達も大歓迎だと思います。大賛成と思っても、提出する術がなく提出する人が少ないと思いますが、その辺も考慮して頂ければ幸いです。老いも若き人と共に将来の為に話し合って行くのと良いかと考えます。細かいことは読んでわかりませんので。(特に高齢者)	③	計画に記載のとおりとなりますが、私たちの南鉄を始めとする公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
176	一日も早く復旧することを願っています。又、大津駅まで乗り入れることでJRの利用、特に新幹線に乗る場合も高森駅から出発できるので期待が大きいです。	③	計画に記載のとおりとなりますが、私たちの南鉄を始めとする公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
176	以上の施策により周辺へのアクセスが容易となり、南阿蘇地域住民自体の動きも活発となり、風光明媚でおいしい水も豊富、田舎・あか牛料理など多彩な料理もあり、かつ多くの温泉宿もある南阿蘇地域には観光客ならびに移住者・定住者も大幅に増加する期待できる。また必然的に南阿蘇鉄道利用者が増加し永続的継承につながるが期待できる。幸いにして南阿蘇地域の創造的復興を目指し、官・学・業三位一体での検討体制が構築された今、大きな構想を実現できる千載一遇のチャンスだと思います。私自身は老輩(間もなく81歳)なので完成後の賑わいを肌で感じることは無理でしょうが若い皆様方の御健闘を期待しております。	③	計画に記載のとおりとなりますが、私たちの南鉄を始めとする公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
177	・新聞などのニュースによると南阿蘇鉄道の復旧により、立野駅での乗り換えをせずに大津まで行けるとの情報があり、利用者として大喜びした次第です。まず時間が短くなるというのは有り難い交通手段です。	③	計画に記載のとおりとなりますが、私たちの南鉄を始めとする公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
178	南鉄沿線交通網形成計画H29年11月(高森町、南阿蘇村、熊本県)4-1-2南阿蘇村の上位・関連計画P54 総合計画(前期基本計画)1基本計画、交通関連施策 上記については是非とも実施して頂きたいと思っております。	③	計画に記載のとおりとなりますが、私たちの南鉄を始めとする公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
179	私の地区(尾下)では、駅まで40分かかりますので利用は稀に乗ることはありません。でも高森の観光の為に、とても必要となります。早く立野開通が出来る事を望んでいます。	③	計画に記載のとおりとなりますが、私たちの南鉄を始めとする公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
180	高齢になり、車の運転が出来なくなった時の事を考えると鉄道がないと病院にも行けないので、鉄道は必要です。	③	計画に記載のとおりとなりますが、私たちの南鉄を始めとする公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
181	町づくり、観光等の復興。観光客が増えるような町づくりにするには、鉄道の計画はすばらしいことだと思う。	③	計画に記載のとおりとなりますが、私たちの南鉄を始めとする公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
182	出来るだけ可能な限り、運行本数を増やしてもらうことで、いつでも安心して乗れるものになると思います。(時間も朝早くから、夜遅くまで)	③	計画に記載のとおり、南鉄の全線復旧と創造的復興に向け、引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
183	必要なことだと思います。	③	計画に記載のとおりとなりますが、私たちの南鉄を始めとする公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
184	復旧後JRへ(熊本駅)の乗り入れが実現できれば高齢者にとって好都合(自家用車の運転が不要となる)	③	計画に記載のとおりとなりますが、私たちの南鉄を始めとする公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
185	・地元民も観光客も活かされるのではないのでしょうか。	③	計画に記載のとおりとなりますが、私たちの南鉄を始めとする公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
186	・1日3便往復なら絶対利便性があがるのでは。	③	計画に記載のとおり、南鉄の全線復旧と創造的復興に向け、引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
187	方向性については、同意します。色々な問題もありますが、出来ることから解決してほしい。過疎化になり、だんだんさみかくなっています。計画が順調に進み、人が住みやすくなれば良いと思います。	③	計画に記載のとおりとなりますが、私たちの南鉄を始めとする公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
188	超高齢化、少子化、過疎化が進み人口減少が急速に進む中、又マイカーの時代両町村の住民が鉄道を利用する人がどれだけのいるのか？これだけ少子化が進むと通学に利用する子供も限られています。観光客だけで将来運営が成り立つのが心配です。5年先〜10年先を見た時、よほどしっかりした経営をしない限り両町村の財政重荷になるのでは。 内、外の観光客をどれだけ呼び込み、沿線の受けざらが(食・住)が魅力的でないと阿蘇の景観は特徴ある観光地造りが必要と思っています。5年先でなく、今からその受けざら造りが必要でしょう。	③	計画に記載のとおりとなりますが、私たちの南鉄を始めとする公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
189	すでに整備されているもの、整備中のももある。(例:「殿の杉」は良い例、羅漢の穴、高尾野の大銀杏、千人岩屋、馬沙門天堂の大禪他多数) ※南阿蘇鉄道の日も早い復旧を祈る	③	計画に記載のとおりとなりますが、私たちの南鉄を始めとする公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
190	南阿蘇鉄道の全線復旧を見据えた創造的復興に向けて、南阿蘇鉄道を中心としたバスやタクシー等の地域公共交通の連携強化や利用促進などを実施、南阿蘇鉄道沿線地域の持続可能な公共交通網を構築する。各公共交通機関の役割が明確であり、サービスが重複する区間が存在すると言う事なので効率的な役割分担を行う。	③	計画に記載のとおりとなりますが、私たちの南鉄を始めとする公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
191	地域住民のニーズに対応した、将来的に持続可能な公共交通の構築、定住、観光、防災等まちづくりに必要な鉄道駅の拠点的役割の強化、観光振興と一体となった公共交通網の構築、利用促進と需要創出。	③	計画に記載のとおりとなりますが、私たちの南鉄を始めとする公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
192	高森町・南阿蘇村のためにも公共交通も便利がいいと思う。 ・自分たちが学生時代の時から通勤で利用した南阿蘇鉄道なので、是非とも残すべきです。 ・観光施設も多いので、観光客のために便利が良いと思う。	③	計画に記載のとおりとなりますが、私たちの南鉄を始めとする公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
193	高森町、南阿蘇村には、南阿蘇鉄道はなくてはならない公共交通機関である事はわかりますが、その前に豊肥線の復旧(最低限立野駅まで)が先が見えませんが、南阿蘇鉄道が活気づくのも豊肥線が復旧しなければ、通勤、通学、観光面から先が暗いと思います。南阿蘇鉄道と同様、豊肥線(最低限立野まで)復旧を住民達に見るようにお願いします。	③	引き続き関係機関と連携し、創造的復興に努めてまいります。計画に記載のとおりとなりますが、私たちの公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
194	将来の全線復旧の利便性(地域住民や観光客etc)を早急に。現在はバスやタクシーの交通連携強化によって、高齢者や学生、生徒の通学等のetcで助かってはいます。	③	計画に記載のとおりとなりますが、私たちの南鉄を始めとする公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
195	ここでは私的機関と公共交通機関の役割をキッチリ分ける。ここでは人口動態などの特性を十分考慮し、将来予想も検討してほしい。過疎化地域は否応なしに生ずるので、保険制度や法律の改正などで一般の人(若手)がマイカーを含めて登録することで人の移動に有料で手伝い出来るよう、国等へ働きかける。	③	計画に記載のとおりとなりますが、将来の地域住民ニーズに対応した持続可能な公共交通網の構築に向け、引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-

NO	寄せられた意見・感想	反映区分	ご意見への対応	計画対応ページ
196	早く開通してほしいと思った。 観光業とかの前に全線早く開通してもっと本数を増やしてほしいと思った。	③	計画に記載のとおり、一日でも早い南鉄の全線復旧と創造的復興に向けて取り組んでまいりますので、引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
197	立野駅がハブであることは明白だろうと思います。(大津駅と連結した場合)	③	計画に記載のとおりとなりますが、私たちの南鉄を始めとする公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
198	私の個人的な意見としましては、ハブ駅としての立野駅との連携が絶対条件だと思うので、特にトンネルが使えるのかどうかというアセスメントを早く実施し地域住民に示してほしい。	③	計画に記載のとおりとなりますが、私たちの南鉄を始めとする公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
199	一般的に40億の予算があるのであれば1.5%の利回りでも8,000万円の収益になります。資本活用という面に限っては、南鉄にはまだ不確定要素が多すぎるのでその根拠をしっかりと示してほしいと思います。	③	計画に記載のとおりとなりますが、私たちの南鉄を始めとする公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
200	近い将来大量の交通弱者(免許返納した高齢者など)が出てくるので、公共性を重視した交通網の整備をお願いします。	③	計画に記載のとおりとなりますが、私たちの南鉄を始めとする公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
201	復旧復興促進に十分注意して、外国及び阿蘇山中心に高森町、南阿蘇の特産観光案内、道路整備色々住民と話をし、良い南阿蘇村づくりをしてほしいと思います。現在残されている一番大切なのはここに来ないの特産品がないので、未永く続く事を祈ります。南阿蘇鉄道全線復旧復興を計画3期方針を作成していますが、実現するように市町村が変更しても続けてほしいと思います。一番大切な事業計画取組み実施する等、目標達成するように住民と話し合いを続けてほしいと思います。	③	計画に記載のとおりとなりますが、私たちの南鉄を始めとする公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
202	私は車を持っていないため、移動手段が限られてくる。南阿蘇鉄道が復旧すれば行きやすくなる。学生も利用者が増えるのではないかと感じた。 鉄道の復旧や復興には時間がかかると思うが元に近い形になったらいいなと思った。	③	計画に記載のとおりとなりますが、私たちの南鉄を始めとする公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
203	暫定復旧に書かれている長陽駅までの部分運転延長は強く希望します。 最後に、第一白川橋梁の復旧について、観光資源というだけでなく、文化遺産としての価値も評価し、新規架設ではなく、元の形で復旧して展望所の整備をして名所として整備していただけますようお願い致します。	③	計画に記載のとおりとなりますが、私たちの南鉄を始めとする公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
204	問題・課題の把握はなされているように思いました。観光立町を方向性として打ち出していた地震前でも中々、色々な壁があり、踏み込んだ話を関係事業所とできなかったと思いますので、逆にこの機会をチャンスとして利用してもらえたらと思います。	③	計画に記載のとおりとなりますが、私たちの南鉄を始めとする公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
205	南阿蘇鉄道復旧には大変な費用、時間がかかると思いますが今後の更なる関係地域、復旧開発振興に役立つ機関だと思います。安全で性格で通学、通勤、観光と多様な機能を発揮する施設です。昭和3年ごろ開通したと聞いており、開通50年祭も有り、100年も間近です。自分も私有地を提供し、株主(10株)所有しています。定住、観光、防災に不可欠であり、町、村、関係各位の更なる発展、復旧実現に向けて努力してください。 各所の関係機関に基づき、一刻も早く復旧を実現いただくよう、住民1人として願うものです。未成年者、高齢者、無免許者に特に必要です。南阿蘇地区は飲料水、空気、観光、景観(南外輪山、北向山地域)など他にない良い地域なので、行政関係各位色々大変ですが、早い復旧と各地域の特性を活かした形成計画を願うものです。	③	計画に記載のとおりとなりますが、私たちの南鉄を始めとする公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
206	1~3計画・方向性については、その通りで異論なし。地震の前後をドッキングし(融合)、早く具体化、具現化する事が、2町村の活性化、活力につながると思います。	③	計画に記載のとおりとなりますが、私たちの南鉄を始めとする公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
207	一昨年の震災を受け、町村内はもちろんの事、道路の完成、通行を県内外の人達が喜んだと実感。鉄道も同様で早く造って開通する事が最も重要で大切な事だと考えます。各期ごとのスパンが長すぎないかと思えます。4年にこたわらず、特に鉄道アクセス開通は何年と書ってもらった方が、期待が持てるように思います。	③	引き続き関係機関と連携し、創造的復興に努めてまいります。計画に記載のとおりとなりますが、私たちの公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
208	3. 熊本駅からの直通運行	③	計画に記載のとおりとなりますが、将来の地域住民ニーズに対応した持続可能な公共交通網の構築に向け、引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
209	2. 南阿蘇沿線地域の活性化を考えるならば豊肥線の南阿蘇鉄道への乗り入れは必須。インバウンド需要関連を見込むならば当然の事ではないか。	③	計画に記載のとおりとなりますが、私たちの南鉄を始めとする公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
210	〇復興南阿蘇鉄道見晴台駅あいたってあたためたいだ。豊かな自然と共存する、がんばれ復興クマモ。見晴らしお楽しみください。CMスポンサーキリンビール午後の紅茶。第1期2016年12月~2017年3月。第2期2017年8月~11月まで(舞台は白川水源)。第3期は2017年2月~現在1月31日まで。駅のイルミネーション17時~20時点灯。メディア抜群。国内はもとより各世界からの観光客チャンス到来。小さい子供連れ幅広い年齢層まで。特に列車の走る田園風景とツーショット、驚くほどの観光スポットになりました。〇しかし災害で整備が進まない、交通物流、人口減少、経営損失もあります。全面交通期間までの有効鉄道の計画はこれからが正念場を極め、生き抜くための提案を感じます。	③	計画に記載のとおりとなりますが、私たちの南鉄を始めとする公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
211	(4)計画の目標は、現状では厳しい。単なる従来の復旧では困難です。特に観光客、国内客はトロッコ列車の復帰とアジアの人に来てもらえるかで南鉄の存続は決まる。JRとの豊肥線の連結が大事です。	③	計画に記載のとおりとなりますが、私たちの南鉄を始めとする公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
212	災害に強い町づくりを目指し、生活するために必要な事業所、商業施設、病院など充実し、一生定住出来る地域を目指して、公共交通網を形成してほしい。	③	計画に記載のとおりとなりますが、私たちの南鉄を始めとする公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
213	4. 南阿蘇鉄道沿線地域公共交通網形成計画(案)に意見 (1)計画対象区域 南阿蘇鉄道沿線地域(熊本県阿蘇郡高森町及び南阿蘇村の全地域) (2)計画期間 平成30年度から平成44年度まで(15年間) まず、第1期30年度~32年度 全線開通を目指す。(地震前の交通アクセスに戻す。) 第2期32年度~35年度 1. 駅名変更と駅の増設 2. トロッコ列車の毎日1便運転 第3期 36年度新しく南阿蘇鉄道オープン。	③	引き続き関係機関と連携し、創造的復興に努めてまいります。計画に記載のとおりとなりますが、私たちの公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
214	計画の目標が実現出来れば本当に素晴らしい事だと思いますが、今後、確実に進んでゆく少子高齢化や財政の縮小化を十分踏まえた上での計画と実行が非常に重要と感じます。	③	計画に記載のとおりとなりますが、私たちの南鉄を始めとする公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-

NO	寄せられた意見・感想	反映区分	ご意見への対応	計画対応ページ
215	南阿蘇鉄道を存続させるかどうかの賛否を問いかけているのかどうか良く理解出来ません。敢えて答えると言われれば「何が何でも全力を挙げて南阿蘇の後生に残すべき宝として存続させるべし」と考えます。地震で被害を被った南阿蘇鉄道の復旧については国が経済的支援するとのニュースも耳に残って記憶しているし、地域交通網としても観光資源としても国宝的資産になると思っています。出来る事ならば、この際大津駅まで運行延伸して利便性拡大に挑戦していただきたいとさえ思っています。	③	計画に記載のとおりとなりますが、私たちの南鉄を始めとする公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
216	何が問題なのか、どんな形態にしたいのか、どんな意見がほしいのか、いまいよく理解できません。当方は、県道28号線の徳山トンネル～西原村陸橋群を生活道路として多用しています。地震後地蔵峠越えルートに往生しましたが、徳山トンネルルートが思いのほか早く復旧しているので助かっています。しかし一方では、地震被害もほとんど無いにもかかわらず、28号県道久石信号交差点より高森方面への拡張工事が中断したまま放置されています。早く拡張工事を完成させ、28号線バス路線となって利便性向上を願っています。	③	パブリックコメントでは、南阿蘇鉄道の全線復旧・創造的復興に向け、関係自治体及び関係団体等の連携を強化し、南阿蘇鉄道沿線地域の公共交通の活性化と持続可能な公共交通網を構築すること等を目的としている当該計画に対するご意見・ご感想を頂きたいと思っておりました。なお、ご指摘のありました公共交通の問題や公共交通の役割等は計画に記載のとおりとなります。今後も、将来の地域住民ニーズに対応した持続可能な公共交通網の構築に向け、引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
217	現在、南阿蘇鉄道の利用は沿線を中心とした形態となっている。これを村善民を対象とした身近で利便性のある鉄道とすることで。村内を走る公共交通機関と連結する拠点駅との交通網整備で利便性の向上を図り地元で愛される南阿蘇鉄道を創造していく。駅を拠点とした観光づくりなど一体的な村づくりを創造していくことで地元から愛される鉄道となっていくと考える。また、特に児童・生徒などの通学、通勤等の交通機関として、各地域が各駅と現在走行している乗合バスや乗合タクシーなどと連結して利便性の向上を図り利用者を増やしていくことがまず当面課題と考える。また、すべてが予算的な問題としてあると思うが、高額な運賃体系から他の公共交通機関と変わらない程度の運賃の実現が求められているのでは。南阿蘇地域になくはならない鉄道としていくためには地域づくりと観光づくりが一体となって、なくてはならない鉄道となるよう今後の活性化計画を願っています。	③	計画に記載のとおりとなりますが、私たちの南鉄を始めとする公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
218	7) 大津駅から高森駅まで乗り入れできるようになるのは非常に良い(立野駅での乗り換えは海外からの人には、特にわかりにくい)	③	計画に記載のとおりとなりますが、私たちの南鉄を始めとする公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
219	様々な要望活動に関するニュースや記事を拝見しており、関係者の皆様のご尽力には感謝しております。地域に根差した鉄道として、これから大きな役割を果たすものと思えます。	③	計画に記載のとおりとなりますが、私たちの南鉄を始めとする公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-
220	昔から電化に関して村が要望されているかと思いますが、一向に実現していないことを踏まえると、まずはニーズが大きく実現可能性の高い大津駅までの乗入から取りかかっていく、ゆくゆくは電化を検討したほうが良いと思います。また、せっかく南郷谷のすばらしい景色の中を走る鉄道であるのに、その風景を電化の架線が邪魔し、台無しにしてしまうと思います。	③	計画に記載のとおりとなりますが、私たちの南鉄を始めとする公共交通を次世代に継承していくため、残していくために引き続き公共交通政策等へのご理解・ご協力を宜しくお願い致します。	-